

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	コンピュータベーシック I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期 水曜4限	教室名	PCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
この授業では、学生がコンピュータの基本操作に習熟することはもちろん、Officeソフトの利用だけにとどまらず、現代社会において必須となるデータ分析やAI技術の基礎を学ぶことを重視します。データの活用方法を学び、実践を通じて在学中および卒業後の情報処理スキル向上を図ります。						
《成績評価の方法と基準》						
出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「コンピュータキャリアトレーニング」※イーラーニングコンテンツ 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。						
《授業外における学習方法》						
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	講座を受講する意義を理解し、IT・DXリテラシーを知り、情報を正しく活用できる	CCT入門 IT・DXリテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	CCT講座を受講する意義、IT・DXリテラシーを学ぶ、IT・DXリテラシー理解度テストの実施			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	Windowsの基本操作ができる	CCT入門 PC基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	マウス・タッチ패드操作/ファイルの管理/タイピングの基礎/キーボードの機能(ショートカット等)			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	生成AIを正しく活用できる	CCT入門 生成AI入門	タイピング練習をすることで予習復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	プロンプト練習/使用する際の注意点/滋慶学園ガイドラインに沿ったAI活用/プロンプト活用/Canva登録			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	文書作成の基本的な操作ができる	Wordダイジェスト	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	文書作成の基本的な流れ/ページ設定/文字の書式設定/図形・画像などの挿入/表の作成/ページ罫線			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	Wordの機能を利用して学科ニュース(新聞)を作成することができる	学科ニュース作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	学科ニュース(新聞)を作成			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	クラウドの特徴を理解し、活用できる	クラウド活用	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
		各コマにおける授業予定	Officeアプリ/OneDrive(ファイル共有)/メールマナー/Teams(共同編集)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	Scratchを使ってプログラミングの基礎的な考え方を学ぶことができる	プログラミング入門	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	プログラミングとは/Scratchの基本操作/プログラミング的思考/フローチャート		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	Scratchを使って簡単なゲームを作ることができる	プログラミング体験	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ゲームを作成して完成させる		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	スライド作成の基本的な操作ができる	PowerPointダイジェスト	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの作成手順/テーマとバリエーション/スライド/プレースホルダー/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/ワードアート/画面切り替え効果の設定/アニメーション効果/ノートの作成/スライドショー		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	発表用スライドを作成できる	PowerPointスライド作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	画像・図形などを活用し作成/リハーサルの実施		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	作成したスライドを使って発表できる(1)	PowerPoint発表(1)	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	発表/評価		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	作成したスライドを使って発表できる(2)	PowerPoint発表(2)	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	発表/評価		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	Canvaを使って資料を作成できる1	CANVA活用1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	生成AIとの会話/生成AIを使って作成/Canvaの紹介/Canvaの使い方/Canvaで資料作成		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	Canvaを使って資料を作成できる2	CANVA活用2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	生成AIとの会話/生成AIを使って作成/Canvaで資料作成		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	Webコミュニケーションについて正しく理解できる	情報モラル	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Webコミュニケーションの危険と対策/モバイル機器の活用と管理		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	コンピュータベーシック I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期 ●曜●限	教室名	PCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				
<b>《授業科目における学習内容》</b> この授業では、学生がコンピュータの基本操作に習熟することはもちろん、Officeソフトの利用だけにとどまらず、現代社会において必須となるデータ分析やAI技術の基礎を学ぶことを重視します。データの活用方法を学び、実践を通じて在学中および卒業後の情報処理スキル向上を図ります。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 「コンピュータキャリアトレーニング」※イーラーニングコンテンツ 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が自学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。						
<b>《授業外における学習方法》</b> 自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	企業や施設が求める表計算ソフトの基本操作ができる	Excel基礎1 基本操作	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	オートフィル/数式の作成/SUM関数/グラフ作成/印刷			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	関数を駆使した資料を作成できる	Excel基礎2 数式と関数基礎	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	割合を求める/相対参照と絶対参照/AVERAGE関数/COUNTIF関数/シートの操作			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	グラフを駆使した資料を作成できる	Excel基礎3 グラフ基礎	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	目的に応じたグラフ作成/グラフのレイアウト/行や列の挿入/グラフの編集			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	データベース機能を理解し活用できる	Excel応用A データベース	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	データベースとは/データを並べ替える/フィルター/ウィンドウ枠の固定/大きな表を効率よく印刷する			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	分析やAI活用に適したデータを取得から加工まで効率的に扱うことができる	データクレンジング	イーラーニングテキスト で講義の内容を確認しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	データクレンジングとは/データクレンジングの具体例/データの種類/統計表における機械判別可能なデータ作成に関する表記方法(総務省 統計局)/データクレンジング実践(リスト修正)/クレンジングデータを使っての分析			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	生成AIを使って自分らしさが伝わる自己PR文と志望動機が作成できる	自己PR作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	自己PRと志望動機の作成/AIで評価		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を数値化できる（平均、分散、標準偏差）	初級データサイエンス(統計編)1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	平均と分散の意味と求め方/標準偏差の意味と求め方		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる1（基本統計量を求める、ヒストグラムの作成）	初級データサイエンス(統計編)2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	分析ツールの使用/基本統計量の算出/度数分布表(ヒストグラム)の作成/標準偏差のグラフ図示		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる2（散布図、相関係数を求める）	初級データサイエンス(統計編)3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	散布図を作成し、相関関係の有無を視覚的に表す/相関係数の算出		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	統計的検定を実施できる	初級データサイエンス(統計編)4	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	母集団・標本・抽出について/統計的検定の手法について/t検定(一对の標本、等分散、不等分散)/F検定		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	統計的手法を選択して利用できる	初級データサイエンス(統計編)5	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	データの分類(質的データ、量的データ)、検定後の結論の書き方、統計手法の復習		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	分散分析の意味とその使い分けについて理解できる	初級データサイエンス(統計編)6	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	1元配置の分散分析(対応のない因子の場合)/2元配置の分散分析(対応のある因子の場合)/独立性の検定(カイ2乗検定)/死亡率・生存率・罹患率の算出		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	重回帰分析の意味を理解できる	初級データサイエンス(統計編)7	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	重回帰分析/復習(相関・度数分布表(ヒストグラム)・t検定)		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	初級データサイエンス(統計編)で習ったことを実践できる	初級データサイエンス(統計編)まとめ	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	初級データサイエンス(統計編)復習問題の実施		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	データを読み解くための基本的な知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる	データリテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	平均/中央値/最頻値/外れ値/欠損値/異常値/データの分類/相関/因果関係/疑似相関/不適切なグラフ表現		